

# 褥婦が産後ケア施設に求めるもの

— 1か月健診時のアンケート調査より —



真田産婦人科麻酔科クリニック・福岡県福岡市 ○松浦和子 松田廣実 酒井康子 平川万紀子 平川俊夫  
福岡女学院看護大学 福澤雪子

## 【研究目的】

出産後女性の心身をサポートする産後ケア施設にどのようなケアが求められているか把握・検討する。

## 【研究方法】

**研究対象**：平成25年9～12月に当院で出産した褥婦234名のうち産後1か月時のアンケートに回答した225名。

**調査期間**：平成25年9月～平成26年1月。

**調査項目**：属性、産後サポートの有無、受たいケアの内容・形態・料金。

**調査方法**：2週間健診時に調査主旨を説明、同意を得て自記式質問紙(無記名)を配布、1か月健診時に回収。

## 【産後ケア事業とは】

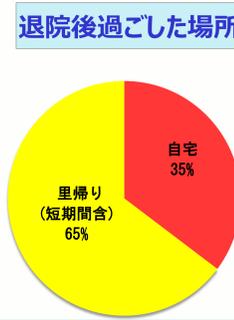
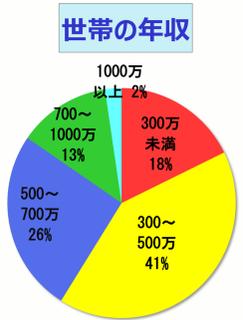
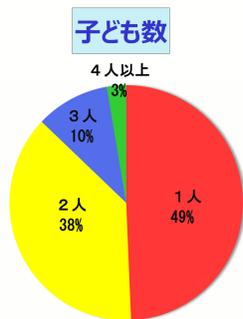
・厚生労働省は少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており、妊娠・出産・子育てに係る父母の不安や負担が増えてきていることから、より身近な場で妊産婦等を支える仕組みが必要であるとし、**妊娠・出産包括支援モデル事業**を進めている。

・産後においては、産科医療機関からの退院直後の母子への心身のケアや育児のサポートなどを行う**産後ケア事業**を掲げており、平成27年度以降はモデル事業ではなく、本格実施に移行し、例えば地域子ども・子育て支援事業の中で実施することも検討可能としている。

(厚生労働省HPより)

## 【結果1.対象の背景】

**分析対象**：初産婦111名、経産婦114名、**年齢層**：30～34歳>25～29歳>35～39歳、**就労状況**：主婦123名(54.9%)、有職85名(37.9%)、無職6名(2.7%)、その他10名(4.5%)  
**家族形態**：核家族198名(88.4%)



分析対象の大多数が産後の支援を受けていた

**支援してくれた人**  
〔複数回答,人数(%),n=224〕

|     |           |
|-----|-----------|
| 実母  | 193(86.2) |
| 夫   | 163(72.8) |
| 義母  | 49(21.9)  |
| その他 | 48(21.4)  |

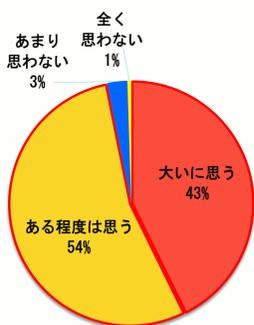
**支援項目**〔複数回答,人数(%),n=224〕

|             |            |
|-------------|------------|
| 家事          | 214(95.5)  |
| 沐浴          | 169(75.4)  |
| おむつ交換       | 116(47.3)  |
| 上の子の世話      | 104(91.2*) |
| 授乳          | 57(25.4)   |
| 経済的支援(夫を除く) | 57(25.4)   |
| その他         | 22(9.8)    |

\*経産婦における割合

## 【結果2.産後ケア施設に求めるもの】

### 産後ケア施設があれば出産・育児への不安が和らぐか



### どのようにしてサービスを受けたいか(複数選択)



### 受たい産後ケアサービスの内容上位2項目〔複数選択,人数(%),n=225〕

|          |                  |         |
|----------|------------------|---------|
| 母親の心身のケア | 骨盤ケア             | 185(82) |
|          | 休養               | 125(56) |
| 乳房ケア     | おっぱいトラブルケア       | 134(60) |
|          | おっぱいマッサージ        | 103(46) |
| 児のケア     | 発育・発達チェック        | 179(80) |
|          | ベビーマッサージ・ふれあい遊び  | 132(59) |
| 育児サポート   | 育児相談             | 125(56) |
|          | 授乳指導             | 107(48) |
| 食事のサポート  | バランスの良い家庭的な料理の提供 | 204(91) |
|          | 離乳食教室            | 177(79) |

### 希望利用料金〔人数(%)]

|              |           |
|--------------|-----------|
| 通所：5,000円未満  | 169(77.1) |
| 5,000円～1万円未満 | 42(19.2)  |
| 宿泊：1万円未満     | 126(59.2) |
| 1万円～2万円未満    | 72(33.8)  |

## 【考察】

- ・すでに支援を受けている褥婦も、産後ケア施設があればさらに不安が和らぐと高率で答えている。
- ・パーリーナー(2010)は、母親が受たい産後ケアは1.乳房ケア,2.発育発達チェック,3.育児相談,としているが、本研究では更に、4.母親の心身のケア,5.食事についてのサポートも求められていることがわかった。
- ・外せない産後ケアとして以下の項目が挙げられる。
  - 1.母親の心身のケア：骨盤ケア・休養など心身の不具合に応じたケアとカウンセリング
  - 2.乳房ケア：マッサージ・乳房乳頭トラブルケア・卒乳相談ケア
  - 3.児のケア：発育・発達チェックと栄養評価から哺乳法の修正・ベビーマッサージ・ふれあい遊び・沐浴・泣きへの対応
  - 4.育児サポート：育児相談・授乳指導・育児支援情報発信・社会資源紹介・家族を含めたケア及び指導・地域との連携
  - 5.食事のサポート：栄養バランスの良い家庭的な食事の提供・レシピ紹介とクッキング・離乳食教室
- ・利用しやすい形態・料金などで課題が残る。

## 【結論】

・産後ケア施設には、母親の心身のケア・乳房ケア・児のケア・育児サポート・食事のサポートなどが求められている。

